



# 調査結果の概要

## 1 概要

従業者4人以上の事業所については、事業所数931事業所、従業者数36,063人、製造品出荷額等1兆4,211億5,661万円となっています。前年と比べて、事業所数は10事業所(1.1%)、従業者数は1,885人(5.5%)、製造品出荷額等は1,931億4,595万円(15.7%)増加しました。

過去5年間の推移をみると、事業所数は増減を繰り返し、従業者数は平成17年を境に減少傾向から増加に転じ、製造品出荷額等は平成15年以降増加しています(図1-1-1)。

軽工業と重化学工業に分けてみると、平成19年について軽工業は事業所数が減少しましたが、従業者数、製造品出荷額等は増加しました(図1-1-2)。重化学工業は事業所数、従業者数、製造品出荷額等ともに増加しました(図1-1-3)。

図1-1-1 事業所数、従業者数、製造品出荷額等の対前年増減率推移

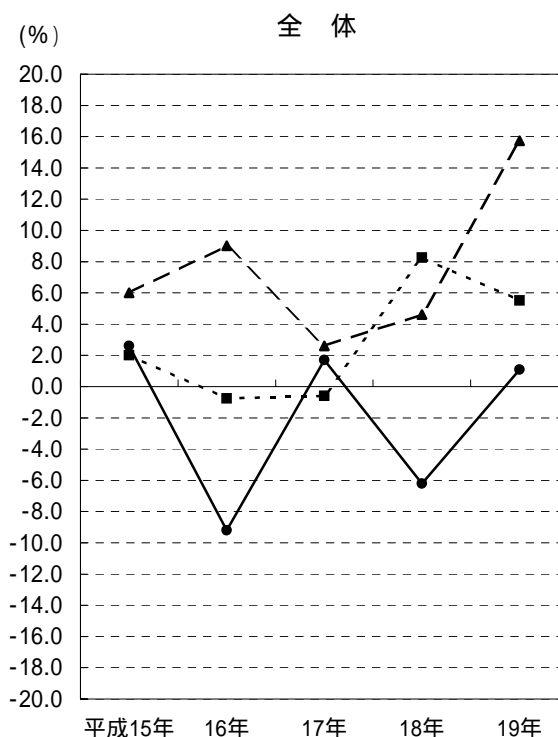


図1-1-3

図1-1-2

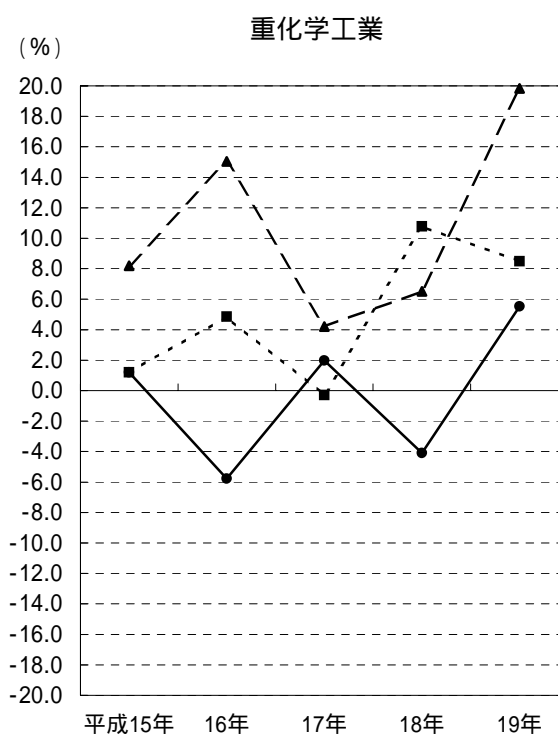
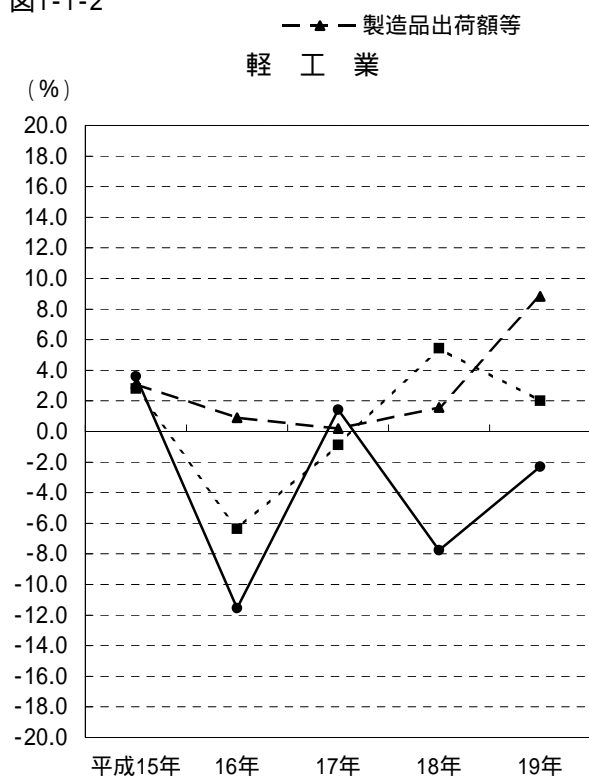
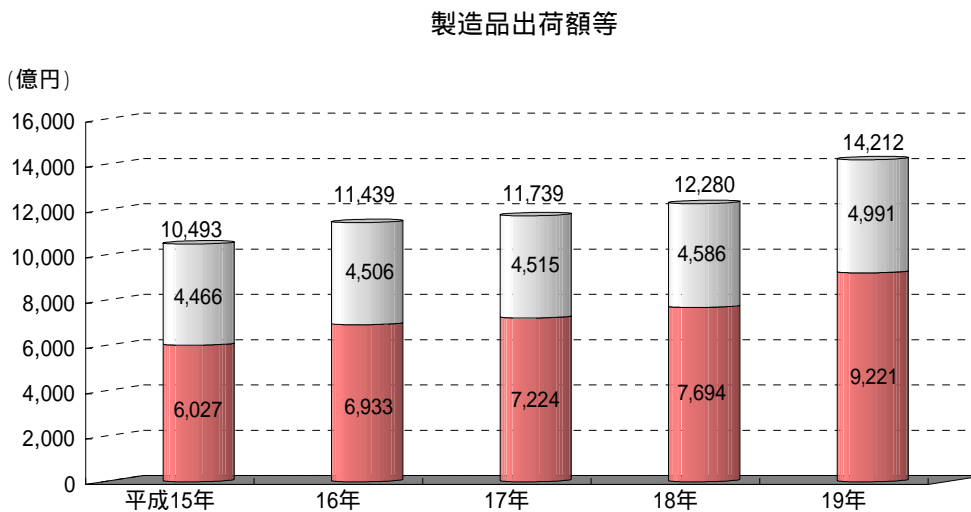
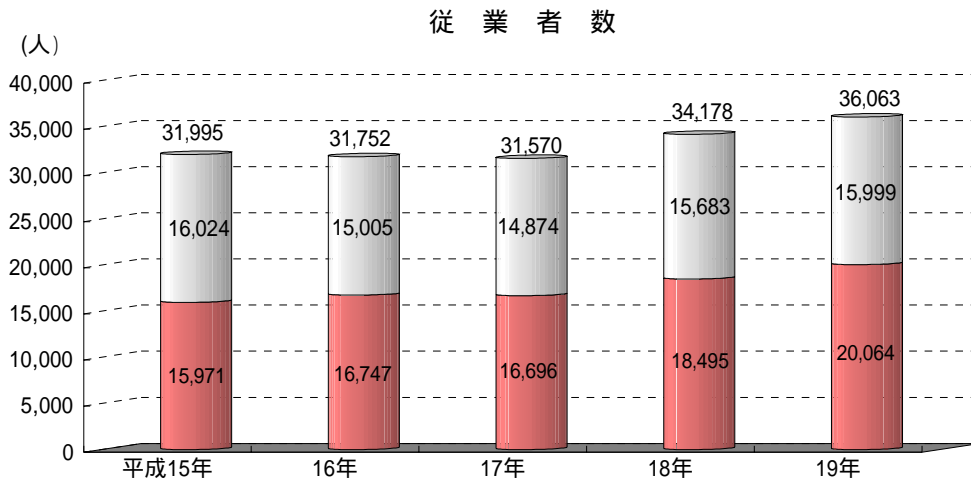
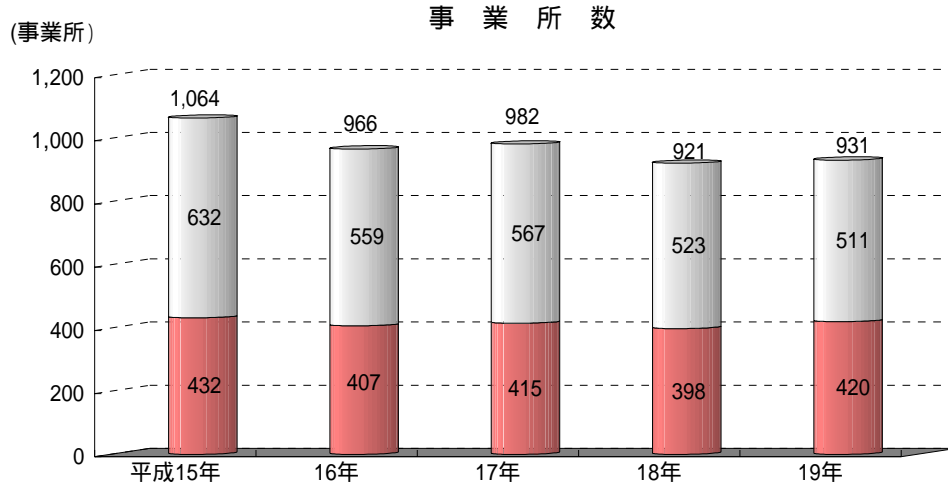


図1-2 事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移

軽工業  
 重化学工業



## 2 事業所数

従業者4人以上の事業所数は931事業所で前年と比べて10事業所(1.1%)増加しました。

### (1) 産業中分類別

産業別でみると、食料品が120事業所(構成比12.9%)で最も多く、次いで一般機械115事業所(同12.4%)、輸送機器101事業所(同10.8%)、金属製品90事業所(同9.7%)、プラスチック61事業所(同6.6%)の順となっています。

軽工業と重化学工業に分けてみると、軽工業は511事業所(構成比54.9%)、重化学工業は420事業所(同45.1%)となっています。

### (2) 従業者規模別

従業者規模別でみると、従業者数4~29人の小規模層は737事業所(構成比79.2%)、30~299人の中規模層は173事業所(同18.6%)、300人以上の大規模層は21事業所(同2.3%)となっています。市内の事業所の約8割は小規模層が占めています。

### (3) 小学校区別

小学校区別でみると、吉田方が83事業所(構成比8.9%)で最も多く、次いで大崎77事業所(同8.3%)、二川南71事業所(同7.6%)、牟呂42事業所(同4.5%)、玉川37事業所(同4.0%)の順となっています。

図2-1 産業中分類別事業所数構成比

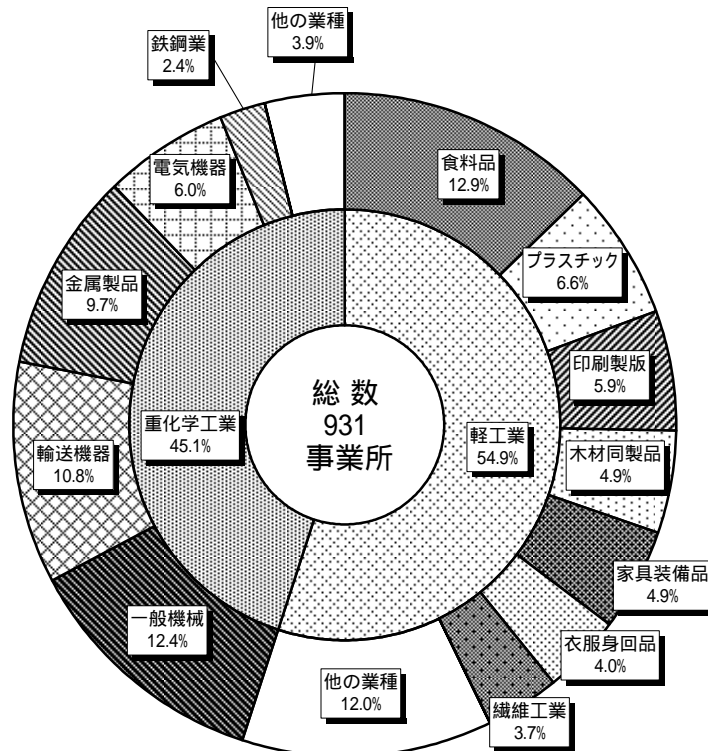


図2-2 従業者規模別事業所数構成比

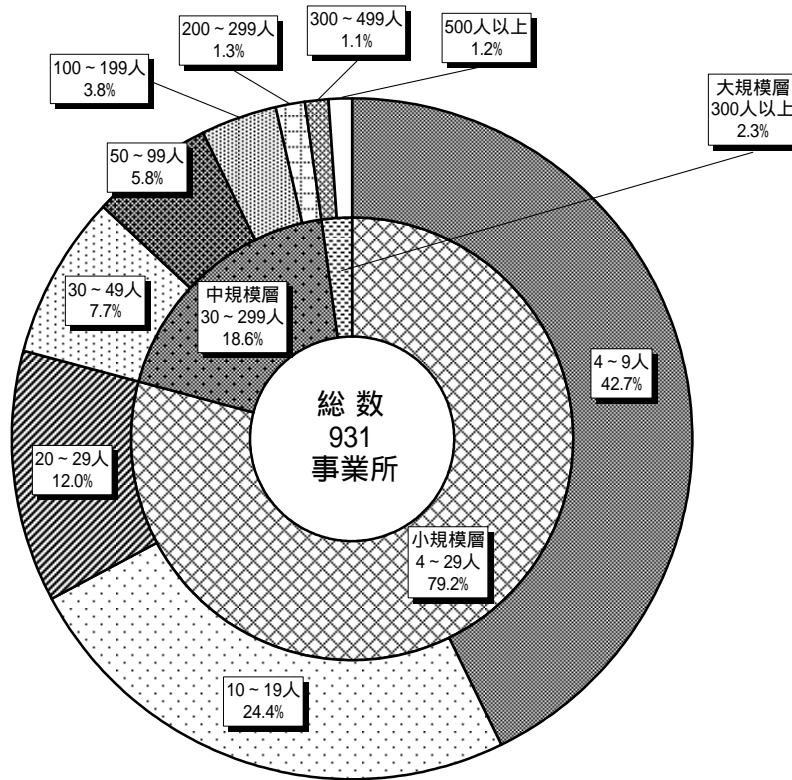
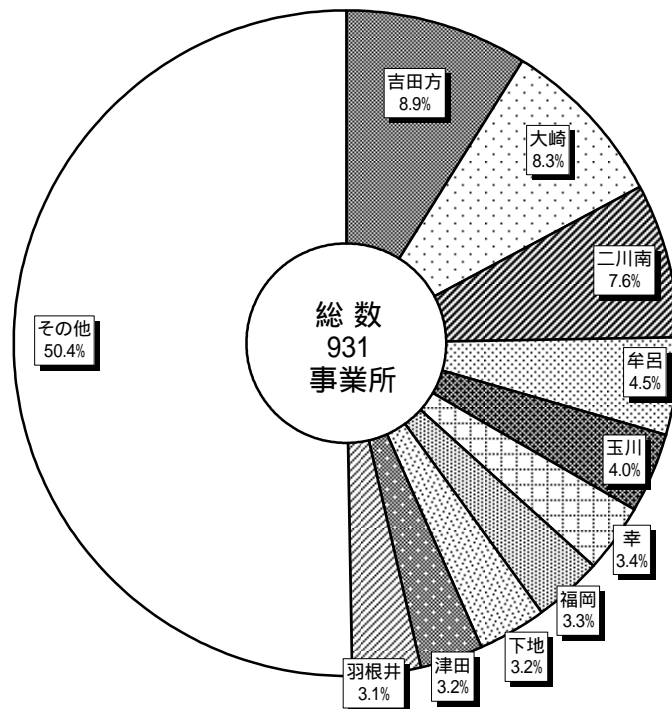


図2-3 小学校区別事業所数構成比



### 3 従業者数

従業者4人以上の事業所の従業者数は36,063人で前年と比べて1,885人(5.5%)増加しました。

#### (1) 産業中分類別

産業別でみると、輸送機器が8,995人(構成比24.9%)で最も多く、次いでプラスチック4,655人(同12.9%)、食料品4,296人(同11.9%)、電気機器3,620人(同10.0%)、一般機械2,565人(同7.1%)の順となっています。

軽工業と重化学工業に分けてみると、軽工業は15,999人(構成比44.4%)で、重化学工業は20,064人(同55.6%)となっています。

#### (2) 従業者規模別

従業者規模別でみると、従業者数4~29人の小規模層は8,298人(構成比23.0%)、30~299人の中規模層は14,339人(同39.8%)、300人以上の大規模層は13,426人(同37.2%)となっています。中規模層が最も大きい割合を占めています。

#### (3) 小学校区別

小学校区別でみると、大崎が10,518人(構成比29.2%)で最も多く、次いで谷川3,332人(同9.2%)、二川南2,761人(同7.7%)、幸1,398人(同3.9%)、牟呂1,360人(同3.8%)、吉田方1,294人(同3.6%)の順となっています。

図3-1 産業中分類別従業者数構成比

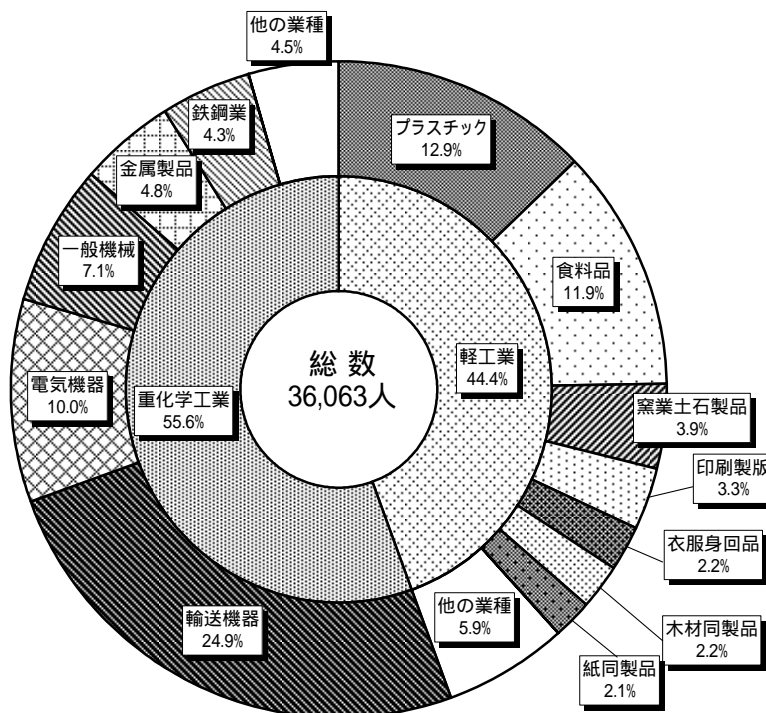


図3-2 従業者規模別従業者数構成比

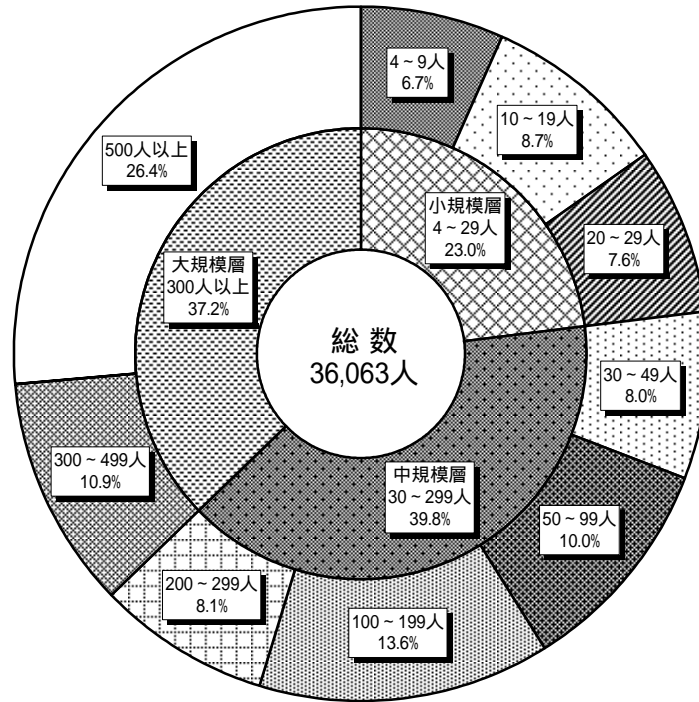
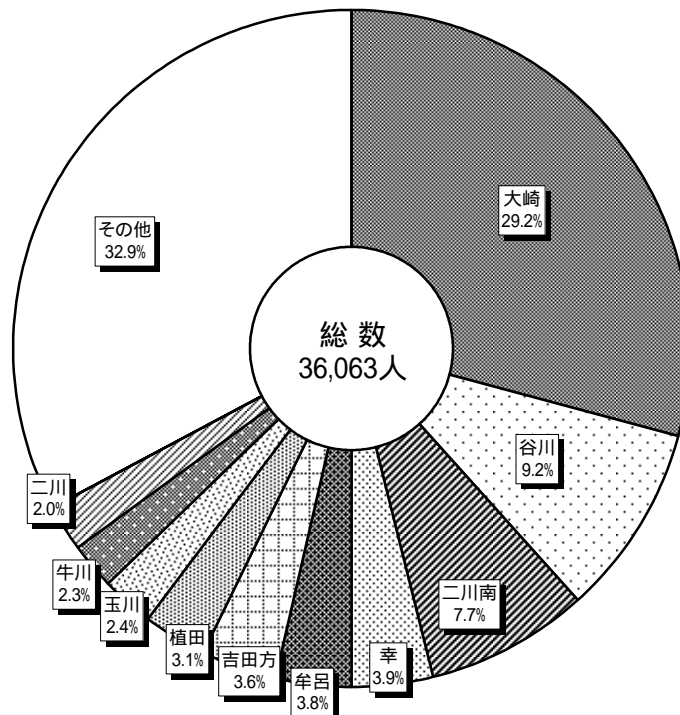


図3-3 小学校区別従業者数構成比



#### 4 製造品出荷額等

従業者4人以上の事業所の製造品出荷額等は1兆4,211億5,661万円で、前年と比べて1,931億4,595万円(15.7%)増加しました。

##### (1) 産業中分類別

産業別でみると、輸送機器が5,175億4,928万円(構成比36.4%)で最も多く、次いでプラスチック1,754億9,380万円(同12.3%)、鉄鋼業1,208億7,961万円(同8.5%)、電気機器1,204億8,764万円(同8.5%)、食料品960億9,117万円(同6.8%)の順となっています。

軽工業と重化学工業に分けてみると、軽工業は4,990億8,247万円(構成比35.1%)、重化学工業は9,220億7,414万円(同64.9%)となっています。

##### (2) 従業者規模別

従業者規模別でみると、従業者数4～29人の小規模層は1,598億3,190万円(構成比11.2%)、30～299人の中規模層は4,338億8,630万円(同30.5%)、300人以上の大規模層は8,274億3,841万円(同58.2%)となっています。大規模層が最も大きい割合を占めています。

##### (3) 小学校区別

小学校区別でみると、大崎が6,564億639万円(構成比46.2%)で最も多く、次いで谷川1,661億7,682万円(同11.7%)、二川南928億4,080万円(同6.5%)、牛川606億5,645万円(同4.3%)、植田513億3,327万円(同3.6%)の順となっています。

図4-1 産業中分類別製造品出荷額等構成比

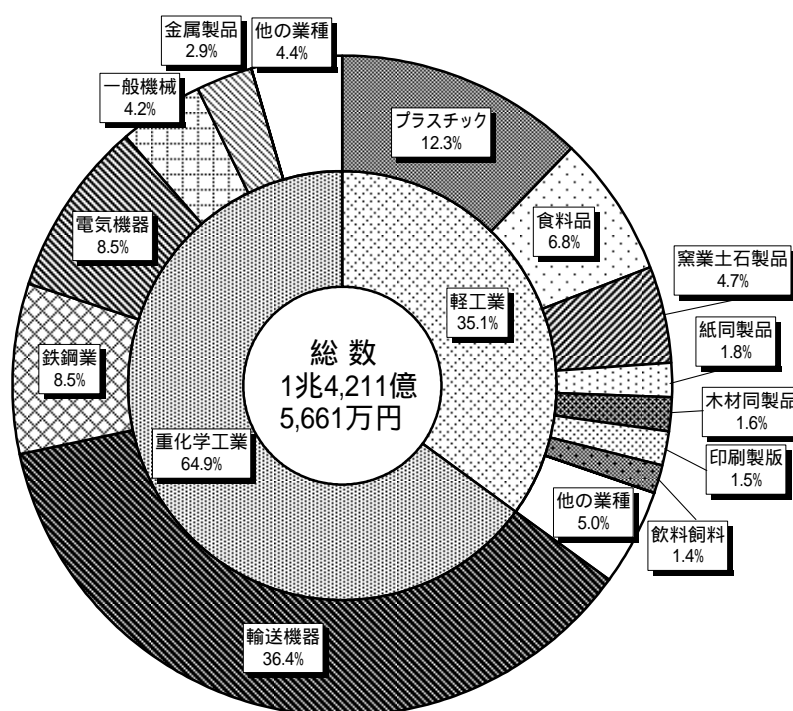




図4-2 従業者規模別製造品出荷額等構成比

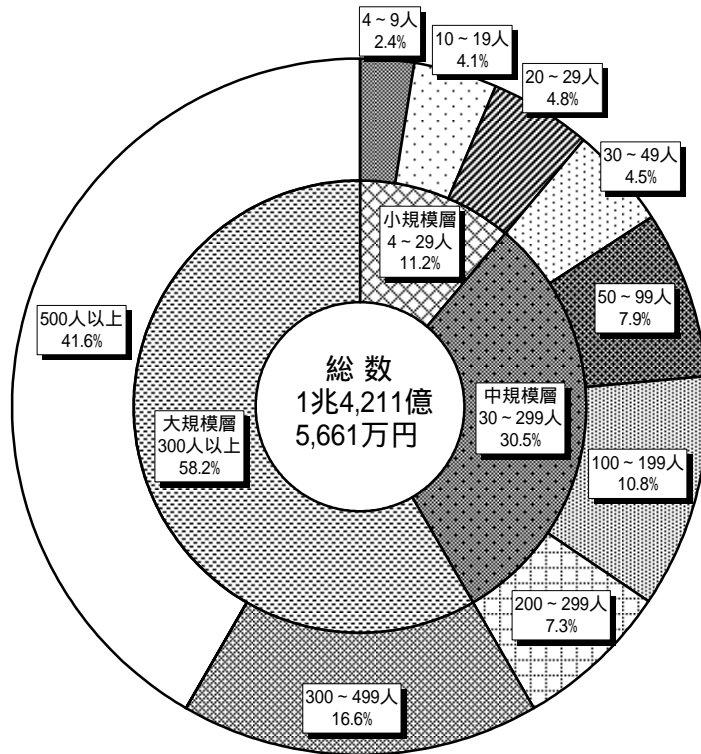


図4-3 小学校区別製造品出荷額等構成比

